

# 学生企画商品光る

玉露キャラメル、ナスのパン…

左京でトレードフェア

大学生や小中高生が企画したオリジナル商品を販売する「バーチャル・カンパニートレードフェア」が24日、京都市左京区の京都大百周年時計台記念館で開かれ、地域の農産物を使った食品やアイデア雑貨などが並んだ。

起業家精神の育成を目的に、NPO法人アントレプレナーシップ開発センター(中央区)や京都工業会、京都経済同友会などが毎年催しており12回目。全国から35団体が出展した。

会場には、群馬県特産のコンニャクをめん



京田辺市特産のナスを使ったパンを販売する同志社女子大の学生たち(京都市左京区・京都大百周年時計台記念館)

に練り込んだつけめんや、京田辺市の玉露を使ったキャラメル、小麦粉を使わず米粉と米ぬかで作ったクッキーなど工夫を凝らした商品のアイデア商品を説明

したり、熱心に売り込むなどした。

栽培農家が「戸という京野菜「桂うり」を使ったスイーツを洋菓子店と開発し、商品化にこぎ着けた桂高(西京区)の吉川愛さん(18)は「血糖値抑制効果があり、メロンの香りがする桂うりの良さを多くの人に知ってもらい、農家と企業をつなぐ役割ができれば」と話していた。

(清原稔也)